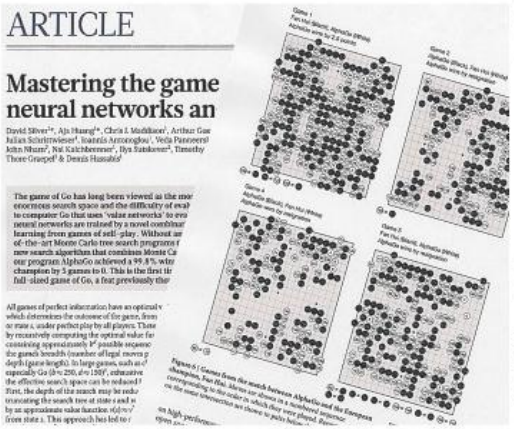
神戸新聞 2016年01月28日 木曜日 面名 朝二社 １４ 28ページ

囲碁人工知能、プロ負かす

世界初 グーグル傘下開発ソフト

【ワシントン共同】米グーグル傘下の人工知能（ＡＩ）開発ベンチャー「ディープマインド」（英国）は、開発した囲碁のコンピューターソフト「アルファ碁」がプロ棋士を相手に勝利を収めたと、英科学誌ネイチャー電子版に27日発表した。プロが公式戦で使うフルサイズの19路盤でハンディなしで勝ったのは世界初としている。

囲碁はその複雑さから、チェスや将棋よりも格段にソフト開発が難しいとされるが、ＡＩの新技術で判断力を大幅に高めた。記者会見した開発者らは「碁はルールはきわめて単純ながら、深遠な複雑さを備えたゲームだ。病気の画像診断など状況判断が必要な場面に応用できる」としている。


ARTICLE

Mastering the game neural networks an

コンピューターソフト「アルファ碁」が、プロ棋士に勝った対局の結果を報告したネイチャー誌の論文

進歩に衝撃受けた

囲碁のコンピューターソフトに詳しいプロ棋士の大橋拓文六段の話　ソフトの急激な進歩にかなり衝撃を受けている。「アルファ碁」が学習すればするほど強くなるタイプだとすると、ファン・フイさんとの対戦から数カ月経過した今頃は、トッププロに迫る実力になっていてもおかしくない。このレベルまで来ているならば、ソフト同士を自己対戦させて学習させることも可能だと思うので、これからも実力は向上し続けると予想するのが妥当だろう。

対戦相手は２０１３～１５年の欧州チャンピオンで中国出身のファン・フイ氏。アルファ碁は15年10月に５戦し全勝した。今年３月に賞金１００万ドルをかけて世界トップクラスの一人、韓国の李世乭九段に挑戦する。李九段は「（ＡＩは）驚くほど強く、進化し続けていると聞いたが、勝つ自信はある」とコメントした。

囲碁ソフトは、計算によって先の展開をシミュレーションし、勝つ確率が高い一手を選ぶ手法が２０００年代に開発され、アマチュア有段者レベルほどの強さになった。しかし対局の展開パターンは、盤面の広さの違いなどからチェスが10の１２３乗通りほどなのに対し、囲碁は10の３６０乗通り以上もあるとみられ、計算が追いつかず、プロ棋士に勝つほどではなかった。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① ２０００年代に開発されたこれまでの囲碁ソフトの強さは、どれくらいのレベルでしたか？

（　　）

② このたび、プロ棋士を相手にフルサイズの１９路盤でハンディなしに初めて勝ったソフトは、何ですか？

（　　）

③ プロ棋士の大橋六段の話も読んで、この記事を読んだ感想を書きましょう。

名 前 【　　】

NIEワークシート／小学校高学年～中学校／国語、総合、朝NIE